

県外派遣報告書

審判員名	九里亜紀		所属	中体連
大会名	平成27年度関東高等学校女子バスケットボール大会兼 第69回関東高等学校女子バスケットボール選手権大会			
期間	平成27年6月6日(土)～7日(日)			
会場	富士北麓公園体育館、富士吉田市営鐘山スポーツセンター総合体育館			
スケジュール				
期日	内 容		場 所	
6月5日(金)	審判会議		富士山ステーションホテル	
6月6日(土)	トーナメント1、2回戦		<small>富士北麓公園体育館 富士吉田市営鐘山スポーツセンター総合体育館</small>	
6月7日(日)	準決勝・決勝		富士北麓公園体育館	
審判会議、レクチャー内容				
<p>加藤 誉樹氏(東京都)より、「ランクアップに際した意識と取り組み」というテーマで話をさせていただきました。加藤さんは、ABC＝「当たり前のことを バカにしないで ちゃんとやる」という教えを大切にしており、自身のレフリングを映像で確認し、その際は別の自分で見えることを心がけているとおっしゃっておいりました。また、コート外の取り組みとしては、審判技術の向上の為に、多くのゲームを見たり、語学力向上の為に英会話教室やシャドーイングをされている話をしてくださいました。終始お話されていたことは、原点である所属連盟を大切に、感謝しているということでした。私も、自身の所属を大切に、審判技術向上のための努力を積んでいきたいと思いました。</p> <p>小坂井 郁子氏(神奈川県)より、「判定基準」というテーマで話をさせていただきました。基準の示し方、それを示すために考えていくこと、ルールの理解・位置取り、そのプレーをみれる「いい位置」ではなく、次のプレーまで見れる「より良い位置」を求め、その中で判定基準をもつことで、スムーズなゲーム進行や信頼につながっていくという話をさせていただきました。カテゴリーによって基準が変わるということはない。という言葉が印象的でした。ルールの理解の大切さを改めて感じました。</p>				
トーナメント1、2回戦 (Bブロック)				
担当試合	期 日	6月6日(土)	男子 女子	女子
	対戦カード	藤村女子(東京) VS 市立船橋(千葉)	主審	副審
	相手審判	山崎 雅洋氏(栃木)		
ミーティング内容		主任 丸山 淳氏(山梨)		
<p>プレゲームカンファレンスでは、運びでプレスがあった際の協力や、ドライブやリバウンドに対する視野の当て方、ベンチ管理などの確認をしました。前半は両者一歩も譲らぬ展開の中、ベンチから3秒のアピールが多々あり、カウントを分かりやすく示すことなど、意識的に行いました。触れ合いや、影響の少ないものでも、質を考えて取るべきプレーの判定が弱かったのが反省です。また、ゲーム後のミーティングでは、トレイルの位置でのプレーの見方や追い方に課題があることをご指摘いただきました。位置が高すぎてしまい、リードレフェリーと一緒に縦ラインになってしまっていることです。トレイルレフェリーの判定すべき横のラインと、リードレフェリーとの協力が出来ていなかったため、今自分の判定すべきプレイのスペースに目を当て、動けるように意識していきます。</p>				

日本公認講習会(6月8日)

日本バスケットボール協会より、阿部哲也氏(神奈川)、渡辺雄吉氏(神奈川)による関東ブロック日本公認講習会がありました。

阿部哲也氏より、葛藤の場면을記憶に残して、次につなげることが必要であり、研究心・向上心を常に持ち続けて欲しい。また、バスケットそのものの競技性の理解を深めてほしいというお話をいただきました。

渡辺雄吉氏より、どんなゲームでも、いつでも、どこでも、同じように判定できる「判定力」についてお話をいただきました。判定力がないというのは、良いものと悪いものの線引きが出来ていないことや、悪いものを見つけようとしているために、選手とのずれが生じてしまうことに原因がある。審判の難しさは、「瞬間に判断しなくてはいけない」ことにある。指導者のようなコートの見方が必要である。ゲームでは、最初の5分で基準を示し、最後の1分ではミスは許されない。審判が結果を決めないよう進行しなくてはいけない。ご自身がA級になるために取り組んだ中で1番は、バスケットの試合を見に行く、人の試合を見ることから多くを学んだと話しておりました。

全体の感想

今回、関東Bブロック、勝ち上がりの割当をいただき、Bブロックというゲームのレベルの中で、基準を選手やベンチに示していくことの難しさを感じました。しかし、それは、難しく考えることではなく、自分の判定力の弱さであるということにも気づきました。去年の女子関東から多くの課題が生まれ、1年間取り組んできましたが、上級の方たちにある存在感が私にはまだまだ足りないと感じました。この壁を越えられるよう、目標を見失わず、1つ1つのゲームを大切に吹いていこうと思います。その経験を、自分の着実な力にしていきます。

今大会へ派遣して下さった埼玉県協会をはじめ、指導委員の先生方に御礼を申し上げます。今後ともご指導よろしくお願い申し上げます。最後になりましたが、3日間、山梨県審判委員会の方々には大変お世話になりました。ありがとうございました。